

高知県感染症発生動向調査（月報）

2020年11月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第45週(11月2日～)から第48週(～11月29日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における11月の上位6疾患の合計は15.41で10月の4週換算値14.16と比べて横ばいであった。コロナ対策の活動自粛と衛生管理により4月・5月と感染症が顕著に減少し、6月-7月は自粛緩和で感染症が増加していたが、8月は再び減少に転じ、9月以降は横ばいで推移し、日常的な感染症は少ない状態が続いている。

1位は感染性胃腸炎で8.36(10月1位、4週換算値6.90)と少し増加した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.80(同2位3.04)、3位は突発性発疹で1.65(同3位1.73)、4位は流行性角結膜炎で0.89(同5位0.94)と、いずれも横ばいだった。5位は咽頭結膜熱で0.88(同7位0.55)、6位が水痘で0.83(同6位0.57)といずれも増加した。

〈新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

世界の患者数は図1左に示すように、12月1日には6,300万人を、死者は146万人を超え、感染拡大は加速を増した。寒冷期を迎えた欧州で再び感染拡大し、11月に仏・独・英国ではクリスマス期の感染拡大鎮静化を目指し、再びロックダウン(都市封鎖)に踏み切った。患者数を国別でみると、1位米国、2位インド、3位ブラジル、4位ロシア、5位フランス、6位スペイン、7位英国、8位イタリア、9位アルゼンチン、10位コロンビアとなっている。

日本の患者数を図1右に示す。自粛を緩和した7月以降に患者数の増加は加速を増していた。11月以降にさらに増加の勾配が急峻となったが、これは低温乾燥といった気候変化の関与も疑われる。国内の死者は、1日最多死亡数を更新する事態に至り、計2,139人となった。都市部や北海道での重症者、死者の増加をみとめ、医療体制の逼迫が叫ばれている。

死亡率の高さは患者年齢に依存している。図2に日本での年齢階層別の死亡率を示す。高齢ほど重症で致死率が高いことは明らかである。6月と12月で比較すると高齢者での死亡率は低下しているが、その理由は治療技術の向上であるのかもしれない。

高齢者の感染者数増加は死亡率増大に直結するので、年代層別の患者比率を監視すべきである。図3に示すように、6・7・8月は、20～30代の感染者が増加し、高齢者の感染は抑制されていた。しかし、11月になって高齢感染者の増加が目立っている。年末年始に向けて、高齢者の感染者増加を防ぐ対策と意識付けが重要である。

開発されたワクチンの有効性について朗報がメディアから伝えられている。本邦で実用化可能となるまでの時間、今しばらく踏ん張りどころである。なお、図に表示された厚労省HPの各数値は、個々の集計方法のちがいで数に不一致があるので、飽くまで参考として参照されたい。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計
1	感染性胃腸炎		1.79	2.08	2.38	2.11	8.36
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.64	0.72	0.81	0.63	2.80
3	突発性発疹		0.39	0.42	0.45	0.39	1.65
4	流行性角結膜炎		0.18	0.25	0.24	0.22	0.89
5	咽頭結膜熱		0.18	0.21	0.25	0.24	0.88
6	水痘		0.18	0.20	0.23	0.22	0.83

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の11月の上位6疾患の合計は17.14で10月の4週換算値20.06と比較して少し減少したが、全国よりも多かった（表2）。手足口病とヘルパンギーナの遅い流行がみとめられたが、通年でみると流行規模は大きくない。

1位は手足口病で5.36（同1位5.64）と横ばいで、全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で4.92（同2位5.03）と横ばいで、全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で2.36（同5位1.54）と増加したが、全国よりも少なかった。4位はヘルパンギーナで2.24（同3位4.88）と減少したが、全国よりも多かった。5位は突発性発疹で1.25（同4位1.94）と減少し、全国よりも少なかった。6位は水痘で1.01（同7位0.74）と増加し、全国よりも多かった。

<新型コロナウイルス感染症 COVID-19>

高知県におけるCOVID-19の月別患者数を図4に示す。2月29日～3月8日に12人が報告され、その後19日間は報告が途絶えた。第2波は3月27日に始まり、連日新規患者が報告され4月29日までに62人が加わった。4月16日から5月14日まで本県を含む全国に緊急事態宣言が発せられた。高知県は5月14日以降に、学校、公共機関、飲食等の活動が再開され、以後は、他県と比べて人的往来に寛容な対応をとってきた。7月6人、8月45人、9月13人の患者発生があり、夏休みの人的往来を反映して患者が増加した。

10月6人、11月8人と少なかったが、12月に入って報告が急増、5日間で63人報告され、1日発生数の最高値を更新する日が続き、一気に県全域に感染者が分布するまでに拡がり、県内患者は計215人となった。これを受けて12月2日に浜田知事は、県の対応を「注意」から「警戒」に引き上げた。寒冷乾燥の季節を迎えて、感染拡大回避は困難な展開だが、何としても医療機能を維持するための対応が不可欠である。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計
1	手 足 口 病		0.89	0.93	1.25	2.29	5.36
2	感 染 性 胃 腸 炎		1.21	1.07	1.25	1.39	4.92
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	0.50	0.86	0.43	2.36
4	へ ル パ ン ギ ー ナ		0.89	0.43	0.71	0.21	2.24
5	突 発 性 発 疹		0.32	0.32	0.32	0.29	1.25
6	水 痘		0.29	0.29	0.36	0.07	1.01

図1,2020年12月1日時点でのCOVID-19(厚生労働省HPから)

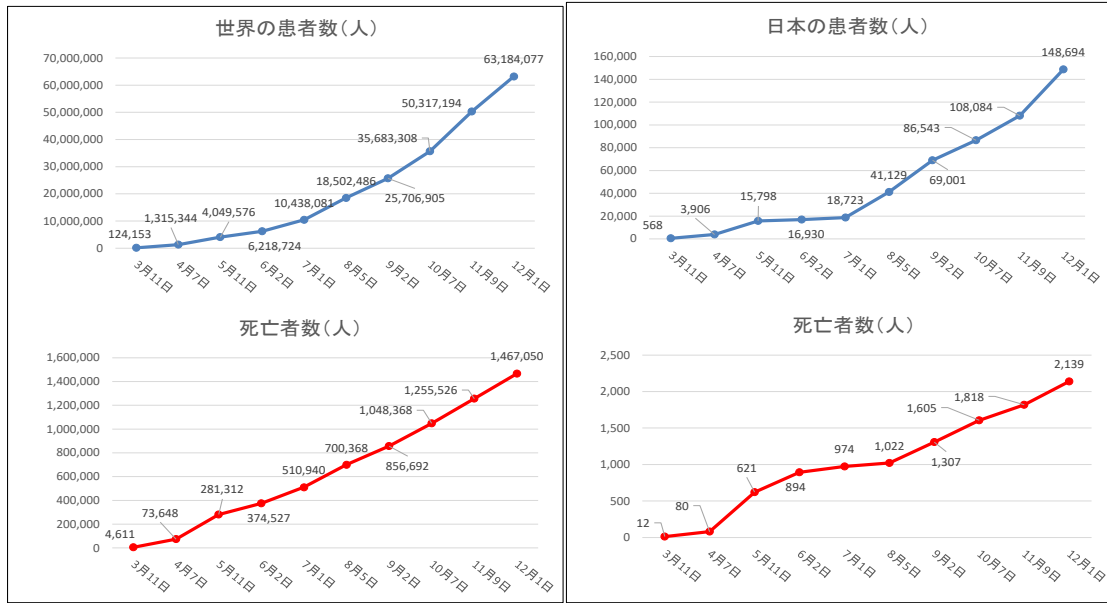


図2,年齢階層別の死亡率

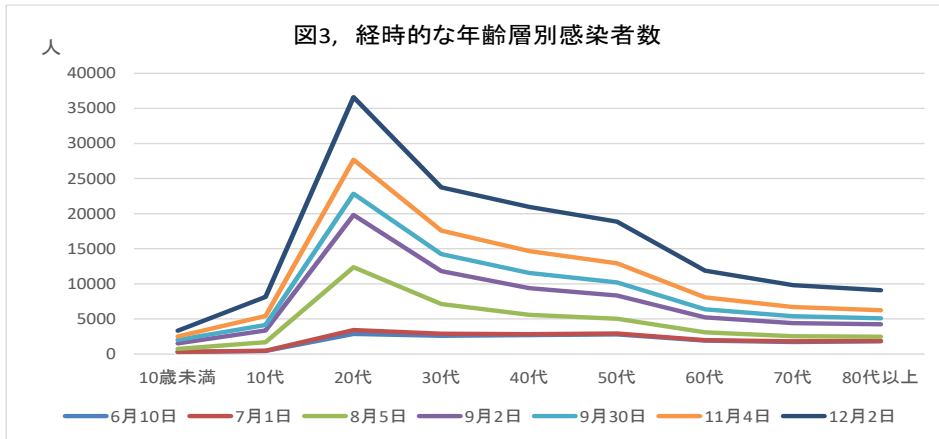
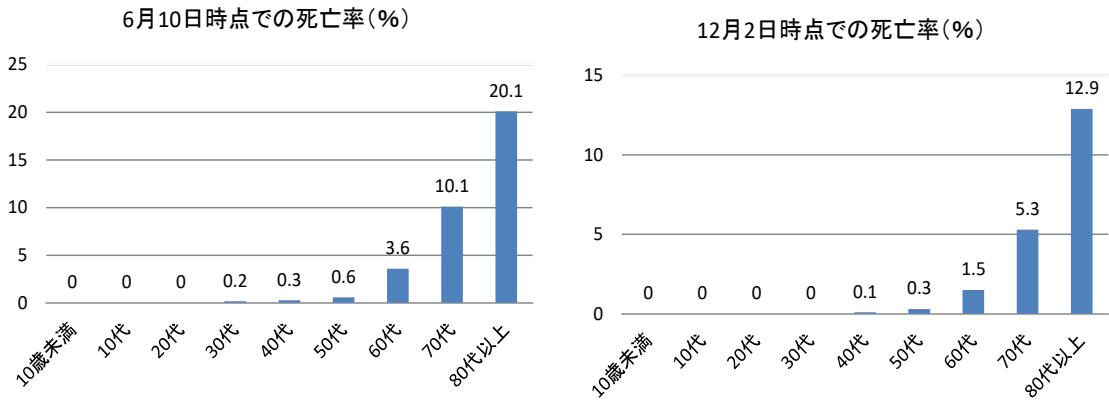
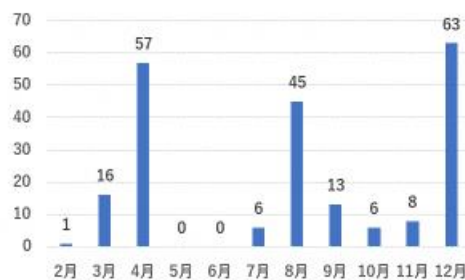


図4, 高知県のCOVID-19月別患者数(人)

~2020年12月5日



高知県の発生状況(11月以降)

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
145例目	11月21日	20歳代・女性	高知市	大学生	
146例目	11月21日	20歳代・女性	中央西	会社員	
147例目	11月23日	20歳代・女性	中央西	会社員	146例目の濃厚接触者
148例目	11月23日	60歳代・男性	高知市	会社役員	松山市からの検査依頼
149例目	11月25日	20歳代・男性	中央西	会社員	146例目の濃厚接触者
150例目	11月29日	30歳代・男性	安芸	農業	
151例目	11月30日	60歳代・男性	安芸	農業	150例目の濃厚接触者
152例目	11月30日	40歳代・女性	高知市	パート職員	岡山市陽性者の濃厚接触者
153例目	12月1日	50歳代・男性	高知市	設備作業員	
154例目	12月1日	60歳代・男性	須崎	会社役員	
155例目	12月1日	20歳代・男性	高知市	会社員	
156例目	12月1日	40歳代・男性	高知市	会社員	
157例目	12月1日	50歳代・男性	高知市	県立学校職員	
158例目	12月2日	50歳代・男性	中央西	会社員	
159例目	12月2日	40歳代・女性	高知市	無職	156例目の濃厚接触者
160例目	12月2日	10歳未満・女性	高知市	未就学児	156例目の濃厚接触者
161例目	12月2日	40歳代・男性	高知市	県立学校職員	157例目と接触あり
162例目	12月2日	30歳代・男性	高知市	飲食業	
163例目	12月2日	50歳代・男性	高知市	県立学校職員	157例目の濃厚接触者
164例目	12月2日	20歳代・女性	高知市	大学生	157例目の濃厚接触者
165例目	12月2日	40歳代・男性	高知市	会社員	154例目の濃厚接触者
166例目	12月3日	50歳代・女性	高知市	無職	
167例目	12月3日	40歳代・男性	高知市	自営業	
168例目	12月3日	40歳代・男性	高知市	会社員	158例目の濃厚接触者
169例目	12月3日	50歳代・男性	高知市	会社員	158例目の濃厚接触者
170例目	12月3日	50歳代・男性	高知市	会社員	158例目の濃厚接触者
171例目	12月3日	30歳代・女性	安芸	パート	150例目の濃厚接触者
172例目	12月3日	50歳代・男性	高知市	会社員	158例目の濃厚接触者
173例目	12月3日	60歳代・男性	中央東	会社員	158例目の濃厚接触者
174例目	12月3日	60歳代・女性	中央東	無職	173例目の濃厚接触者
175例目	12月3日	30歳代・男性	中央東	会社員	173例目の濃厚接触者
176例目	12月3日	30歳代・女性	高知市	飲食業	162例目の濃厚接触者
177例目	12月3日	50歳代・男性	高知市	自営業	
178例目	12月3日	30歳代・女性	高知市	無測	
179例目	12月3日	50歳代・女性	高知市	パート	180例目の濃厚接触者
180例目	12月3日	30歳代・女性	高知市	医療職	179例目の濃厚接触者

	公表日時	年代・性別	管轄保健所	職業	備考
181例目	12月4日	70歳代・男性	高知市	自営業	
182例目	12月4日	40歳代・女性	高知市	会社員	
183例目	12月4日	70歳代・男性	中央西	飲食業	
184例目	12月4日	40歳代・女性	高知市	飲食業	158例目の濃厚接触者
185例目	12月4日	20歳代・女性	高知市	無職	166例目の濃厚接触者
186例目	12月4日	50歳代・女性	高知市	自営業手伝い	177例目の濃厚接触者
187例目	12月4日	50歳代・女性	高知市	会社員	170例目の濃厚接触者
188例目	12月4日	30歳代・女性	高知市	飲食業	
189例目	12月4日	30歳代・女性	高知市	医療職	168例目の濃厚接触者
190例目	12月4日	50歳代・男性	高知市	団体職員	
191例目	12月4日	60歳代・男性	高知市	無職	
192例目	12月4日	70歳代・男性	高知市	無職	
193例目	12月4日	50歳代・男性	高知市	自営業	179例目の濃厚接触者
194例目	12月4日	20歳代・男性	高知市	学校教諭	
195例目	12月4日	50歳代・男性	高知市	自営業	182例目の濃厚接触者
196例目	12月4日	10歳代・男性	高知市	学生	182例目の濃厚接触者
197例目	12月5日	20歳代・男性	高知市	会社員	
198例目	12月5日	70歳代・女性	高知市	無職	
199例目	12月5日	30歳代・女性	高知市	飲食業	188例目の濃厚接触者
200例目	12月5日	40歳代・男性	高知市	自営業	184例目の濃厚接触者
201例目	12月5日	60歳代・女性	高知市	会社員	184例目の濃厚接触者
202例目	12月5日	30歳代・女性	高知市	会社員	188例目の濃厚接触者
203例目	12月5日	30歳代・男性	高知市	会社員	
204例目	12月5日	60歳代・男性	幡多	会社員	
205例目	12月5日	60歳代・女性	高知市	自営業	191例目の濃厚接触者
206例目	12月5日	30歳代・女性	高知市	県立高等学校技術学校職員	188例目の濃厚接触者
207例目	12月5日	60歳代・男性	高知市	団体職員	183例目の濃厚接触者
208例目	12月5日	70歳代・男性	高知市	無職	183例目の濃厚接触者
209例目	12月5日	60歳代・男性	高知市	会社役員	183例目の濃厚接触者
210例目	12月5日	30歳代・男性	高知市	自営業	162例目の接触者
211例目	12月5日	50歳代・女性	幡多	地方公務員	204例目の濃厚接触者
212例目	12月5日	20歳代・女性	中央東	サービス業	193例目の接触者
213例目	12月5日	40歳代・男性	安芸	農業	188例目の濃厚接触者
214例目	12月5日	30歳代・男性	安芸	農業	188例目の濃厚接触者
215例目	12月5日	20歳代・男性	安芸	農業	188例目の濃厚接触者

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 0名(10月 0名)。昨季は対コロナ自粛の影響もあってか小さな流行に終わり終息した。本年9月に成人1名が報告されたが10月は報告なく、ウイルスも検出されていない。全国で9月18名、10月106名、11月141名報告された。COVID-19流行との兼ね合いでインフルエンザの流行動向には例年以上に注目される場所である。

2) 咽頭結膜熱

報告数 8名(10月 36名)。11月としては少ない報告数だった。幡多、高知市から報告された。10月13日に上気道から採取された検体からAdenovirus 2型が検出されている。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 66名(10月 54名)。2019年9月から2020年2月にかけて多かったが、3月以降は減少し、少ない数字で推移している。同月としては過去10年で2013年に次いで少ない報告数だった。県下全域から報告され、特に高知市、幡多から報告が多かった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 138名(10月 176名)。もともと少ない数字で推移し、2月に増加して平年並みとなっていたが、3月以降は、過去10年で最低、かつ例年の1/3未満の報告数で推移している。県下全域から報告があり、特に高知市、幡多から多く報告された。病原体は検出されていない。

5) 水痘

報告数 28名(10月 26名)。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。県下全域から報告され、須崎と中央西で特に多かった。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 150名(10月 197名)。6月以降の報告数は波打っている。今季の流行規模は平年並みで大きくはない。高知市、幡多、安芸、中央東から表記の順に多く報告された。Coxsackievirus A16が流行株で、8月の検体から1件、9月6件、10月3件、11月は1件が検出された。

7) 伝染性紅斑

報告数 1名(10月 3名)。2019年7月以降は多い報告数で推移していたが、本年3月以降は減少し続けている。幡多から1名報告された。ウイルスは検出されていない。

8) 突発性発疹

報告数 35名(10月 68名)。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 63名(10月 171名)。例年は初夏の感染症だが、遅れて流行した。幡多、高知市、安芸、中央東から表記の順に多く報告された。11月としては過去10年で最多だが、通年でみると大きな流行とはいえない。ヘルパンギーナの7歳児から1件Coxsackievirus A4が検出され、診断名の記載のない8か月乳児からも同ウイルスが検出された。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 5名(10月 5名)。年々流行規模が小さくなっている。任意の予防接種が浸透してきているためであろうか。須崎、中央東、高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 0名(10月 1名)。2020年は3月以降減少し少数にとどまっている。過去3年続けて流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いた。今年はコロナ自粛の効果もあってか流行がない。7月8月とゼロ、9月に幡多から1例、10月に高知市から1例報告されたのみである。一般に流行開始時期としてとらえられている秋季に報告数がゼロなのは異例のことといえる。ただし鹿児島県と沖縄県では流行をみとめる。

12) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (10月 0名)。

13) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (10月 0名)。1年に10名前後の報告で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名と減少傾向である。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因とする小児例の報告は1例もなく、成人例も近年減少している。

14) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 1名 (10月 0名)。高知市から1例が報告された。年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019年5名、2020年は2名と報告が少ない。ウイルスは検出されていない。

15) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 3名 (10月 6名)。高知市から3名が報告された。衛環研では細菌は確認されていない。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 15名 (10月 23名)。平年並の推移である。中央東、高知市から報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (10月 0名)。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例、2019年は2例の報告があり、2020年は0例である。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患 (令和2年11月)

類型	病名	報告月											総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2	結核	5	5	8	3	6	9	3	7	2	8	2	58
3	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
4	E型肝炎								1				1
	重症熱性血小板減少症候群			1	1	1				1	1		5
	つつが虫病											1	1
	日本紅斑熱				5	6	3	4	3		2		23
	レジオネラ症	1					1	2	3				7
5	ウイルス性肝炎						1		1				2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		2		1			2	1	2		9
	急性脳炎		1										1
	クロイツフェルト・ヤコブ病							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1											1
	後天性免疫不全症候群	2				1			1	1		1	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1							1
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	1	2			1		1		1		11
	水痘(入院例に限る)	1				1		1					3
	梅毒	1		3	3	3			3	5	7	3	28
	破傷風		1			1					1		3
	百日咳	9	8	7	4	1	1	1	1		1	2	35
指定感染症	新型コロナウイルス感染症			12	36	26		2					76
	総計	26	16	35	52	48	16	14	23	11	23	10	274

高知県感染症情報 月報 (63定点医療機関)

2020年 11月

定点名	疾病名	2020年							11月	
		保健所 安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
内科・小児科	インフルエンザ									96
小児科	咽頭結膜熱			3			5	8	36	44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	46	3	1	10	66	54	310
	感染性胃腸炎	7	22	64	10	7	28	138	176	215
	水痘	2	4	10	5	6	1	28	26	33
	手足口病	11	25	79			35	150	197	77
	伝染性紅斑						1	1	3	102
	突発性発疹	1	6	19	2	4	3	35	68	41
	ヘルパンギーナ	2	4	25			32	63	171	10
	流行性耳下腺炎		3	1		1		5	5	5
	RSウイルス感染症								1	20
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎									4
STD	性器クラミジア感染症		1	2				3	4	2
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ								2	2
	淋菌感染症		1					1		
基幹	細菌性髄膜炎									
	無菌性髄膜炎			1				1		
	マイコプラズマ肺炎			3				3	6	15
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			1				1		
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)									2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3	12				15	23	32
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計		24	74	266	20	19	115	518	772	1,010
前月		28	123	325	23	49	224			
前年同月		30	124	506	128	44	178			
小児科定点数		2	7	9	3	2	5			

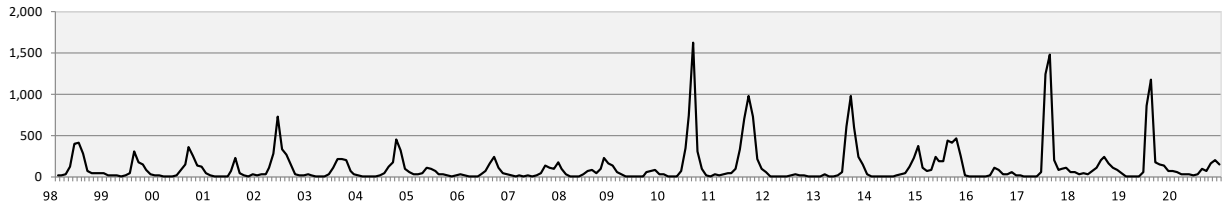
高知県感染症情報 月報（63定点医療機関）

2020年 11月 定点当たりの人数

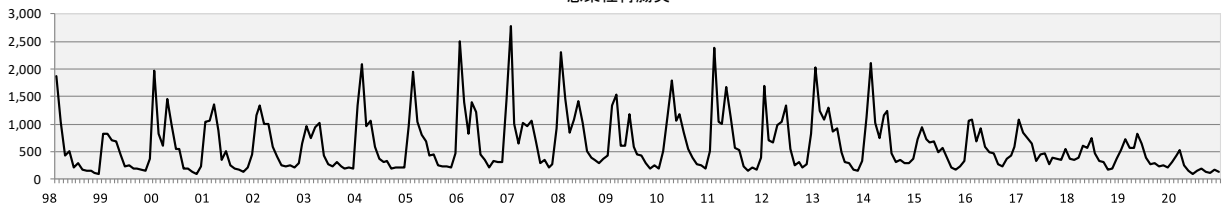
定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ										2.00
小児科	咽頭結膜熱			0.33			1.00	0.29	1.28	1.47	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.71	5.11	1.00	0.50	2.00	2.36	1.93	10.33	
	感染性胃腸炎	3.50	3.14	7.12	3.33	3.50	5.60	4.92	6.29	7.16	
	水痘	1.00	0.57	1.11	1.66	3.00	0.20	1.01	0.93	1.11	
	手足口病	5.50	3.57	8.78			7.00	5.36	7.05	2.57	
	伝染性紅斑						0.20	0.04	0.11	3.40	
	突発性発疹	0.50	0.86	2.11	0.67	2.00	0.60	1.25	2.43	1.36	
	ヘルパンギーナ	1.00	0.57	2.78			6.40	2.24	6.10	0.34	
	流行性耳下腺炎		0.43	0.11		0.50		0.18	0.19	0.17	
	RSウイルス感染症								0.04	0.68	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎									1.33	
STD	性器クラミジア感染症		0.50	1.00				0.50	0.67	0.33	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ								0.33	0.33	
	淋菌感染症		0.50					0.17			
基幹	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13			
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.39	0.77	1.89	
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）			0.20				0.13			
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）									0.26	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3.00	2.40				1.88	2.88	4.00	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計		12.00	9.85	27.45	6.66	9.50	23.00	17.65	26.35	30.59	
前月		14.00	17.57	32.99	7.65	24.50	43.40				
前年同月		13.50	16.39	40.82	38.26	21.75	33.84				

注目される疾患別月別推移

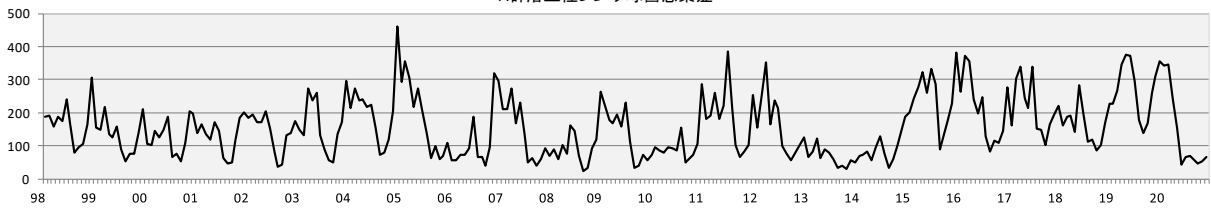
手足口病



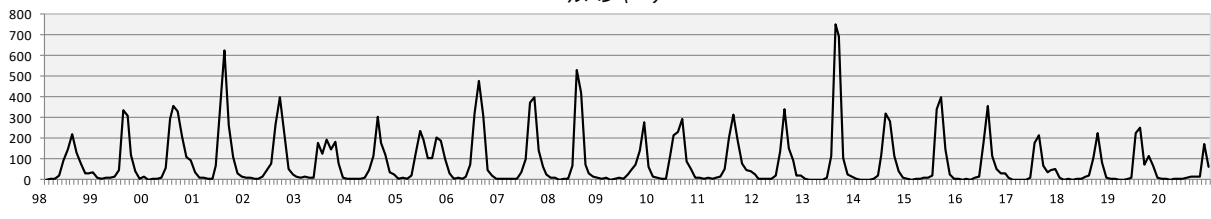
感染性胃腸炎



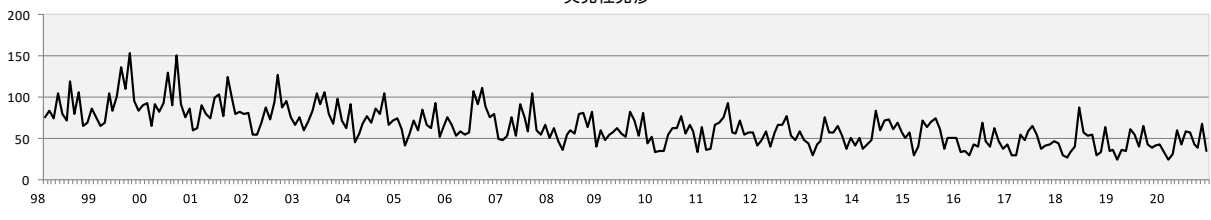
A群溶血性レンサ球菌感染症



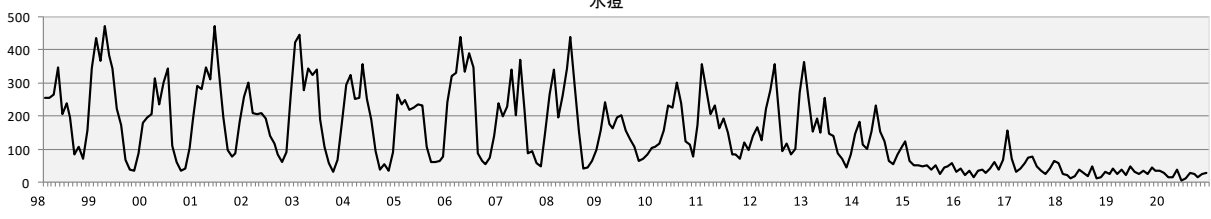
ヘルパンギーナ



突発性発疹



水痘



高知県感染症情報(月報)

2020年11月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

11月はウイルス 16件の搬入があり、そのうちウイルス 3件の病原体を検出し、また、2020年9月に搬入された検体でウイルス 1件、10月に搬入された検体でウイルス 3件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Coxsackievirus A4 2件、Coxsackievirus A16 2件、Rhinovirus 2件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	5	女	流行性耳下腺炎	咳嗽,	ぬぐい液	8/31	Rhinovirus
2	5	男	Rhino virus?	咳嗽,下気道炎,	ぬぐい液	10/13	Adenovirus 2
3	4ヶ月	男	—	39°C,気管支炎,	鼻汁	10/19	Rhinovirus
4	2	女	手足口病	水疱,発疹,口内炎,	ぬぐい液	10/23	Coxsackievirus A16
5	1	男	手足口病	38°C,水疱,発疹,口内炎,	ぬぐい液	10/28	Coxsackievirus A16
6	7	男	ヘルパンギーナ	40°C,嘔吐,嘔気,上気道炎,	ぬぐい液	11/2	Coxsackievirus A4
7	8ヶ月	女	—	39°C,咳嗽,上気道炎,気管支炎,	ぬぐい液	11/6	Coxsackievirus A4

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2020年											2020年総	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1		1											1
	計		1											1
インフルエンザ	Adenovirus 1	1												1
	Influenza virus A H1pdm09	27	9											36
	Influenza virus B /Victoria	3	4	1										8
	Herpes simplex virus 1	1												1
	Rhinovirus	1												1
計	33	13	1										47	
咽頭結膜熱	Adenovirus 3	1												1
	計	1												1
感染性胃腸炎	Coxsackievirus B5	1												1
	Norovirus GI NT			1										1
	Norovirus GII NT	2	7	1										10
	Rotavirus group AG9		1											1
	Rhinovirus		1								1			2
	Sapovirus genogroup unknown		1											1
計	3	10	2								1		16	
ヘルパンギーナ	Coxsackievirus A4												1	1
	計												1	1
手足口病	Coxsackievirus A16	13	1	1				5	1	6	3	1		31
	Enterovirus 71													
	計	13	1	1				5	1	6	3	1		31
流行性角結膜炎	Adenovirus 2													
伝染性紅斑	Human herpes virus 6		1											1
	Human herpes virus 7	1	1											2
	Human parvovirus B19	1												1
	Rhinovirus													
	計	2	2											4
流行性耳下腺炎	Mumps virus	2	3											5
	Mumps virus(ワクチン株)													
	Rhinovirus									1				1
計	2	3							1				6	
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4													
	Coxsackievirus B5	1												1
計	1												1	
RSウイルス感染症	Respiratory syncytial virus A													
	Respiratory syncytial virus B													
水痘	Human herpes virus 7		1											1
	Varicella-zoster virus		2											2
	計		3											3
突発性発疹	Human herpes virus 6		1											1
	Rhinovirus													
計		1											1	
その他	Adenovirus 1	2												2
	Adenovirus 2							2			1			3
	Adenovirus NT							1						1
	Coxsackievirus A4	1										1		2
	Coxsackievirus A16	1	1											2
	Cytomegalovirus							1		1				2
	Echovirus 30		1											1
	Epstein-Barr virus		1											1
	Human herpes virus 6	6	6					1		1				14
	Human herpes virus 7	4	1						1	1				7
	Human metapneumovirus		2											2
	Human parvovirus B19	1												1
	Influenza virus A H1pdm09	2												2
	Influenza virus B /Victoria	1												1
	Norovirus GII NT		1											1
	Parechovirus 1							1						1
	Respiratory syncytial virus A	1	2											3
Rhinovirus	2	1	2					2	2	1			10	
Sapovirus genogroup unknown	1												1	
計	22	16	2				6	3	5	2	1		57	
総計	77	50	6				11	4	12	6	3		169	

